

2021年度の取り組み

2021年6月23日

定時株主総会

株式会社 **アールス物流**

2021年1月

東京証券取引所市場第一部へ上場

株主・投資家様をはじめステークホルダー
の皆様からのご支援の賜物であると
心より感謝いたします



世界経済

コロナ停滞から再成長へ (GDP : 2020年▲4.1% ⇒ 2021年+5.7%)

電子部品関連

自動車販売	: 底堅い回復、半導体不足懸念	(2020年▲14.0% ⇒ 2021年 + 8.8%)
スマホ出荷	: 5G端末への買い替え	(2020年▲11.4% ⇒ 2021年+14.6%)
電子部品生産	: 車載、通信機器向け増加	(2020年▲ 1.9% ⇒ 2021年 + 6.1%)

消費物流関連

外出自粛を契機にEC通販へのシフトは継続
食品宅配需要は2020年3月以降急伸、徐々に平常化

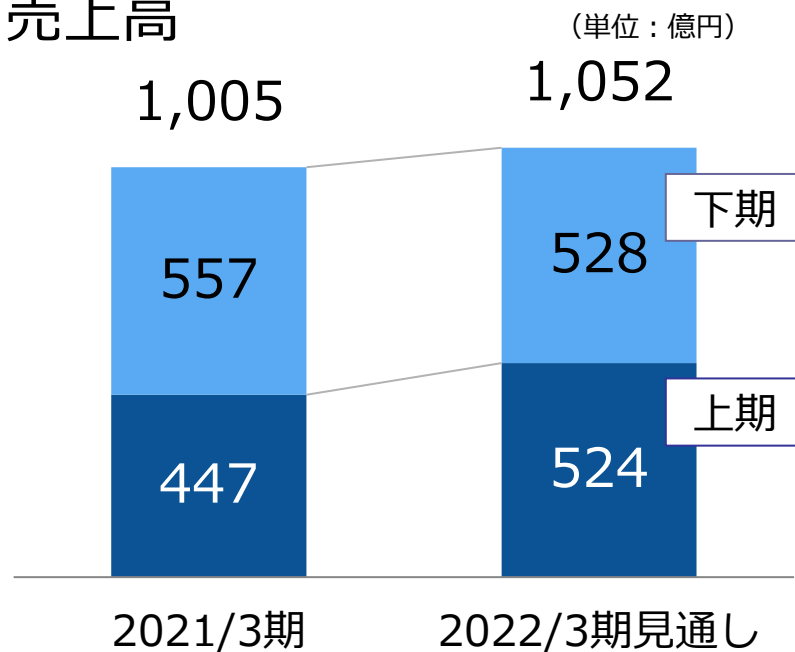
不透明要因

コロナ影響継続、各国景気対策の持続性、米中摩擦、半導体不足

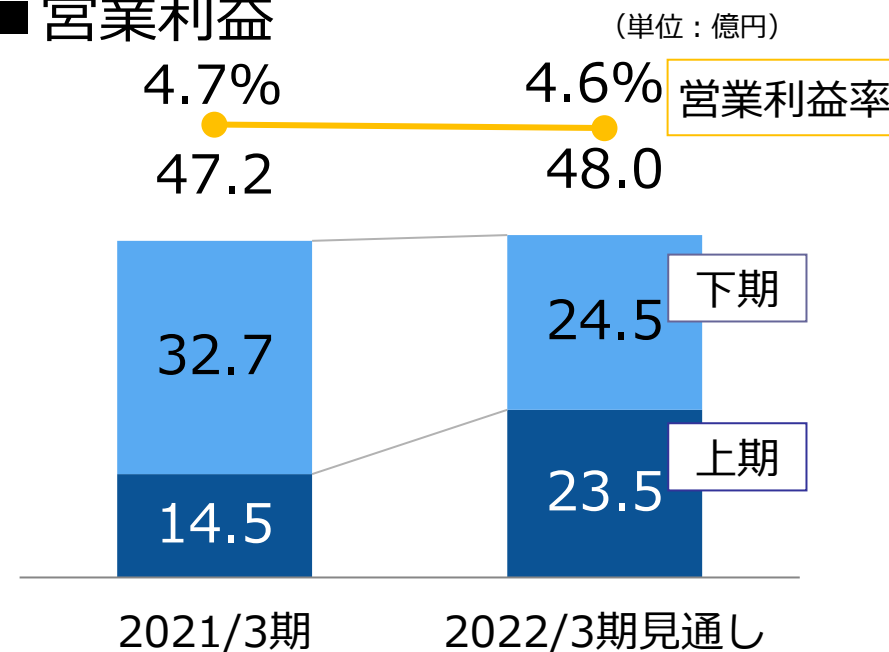
2022/3期業績見通し (連結)

(単位:百万円)	2021/3期		2022/3期		
	実績	利益率	見通し	利益率	増減率
売上高	100,562	-	105,200	-	+ 4.6 %
営業利益	4,725	4.7 %	4,800	4.6 %	+ 1.6 %
経常利益	4,926	4.9 %	4,700	4.5 %	△ 4.6 %
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,900	2.9 %	2,800	2.7 %	△ 3.5 %

■ 売上高



■ 営業利益



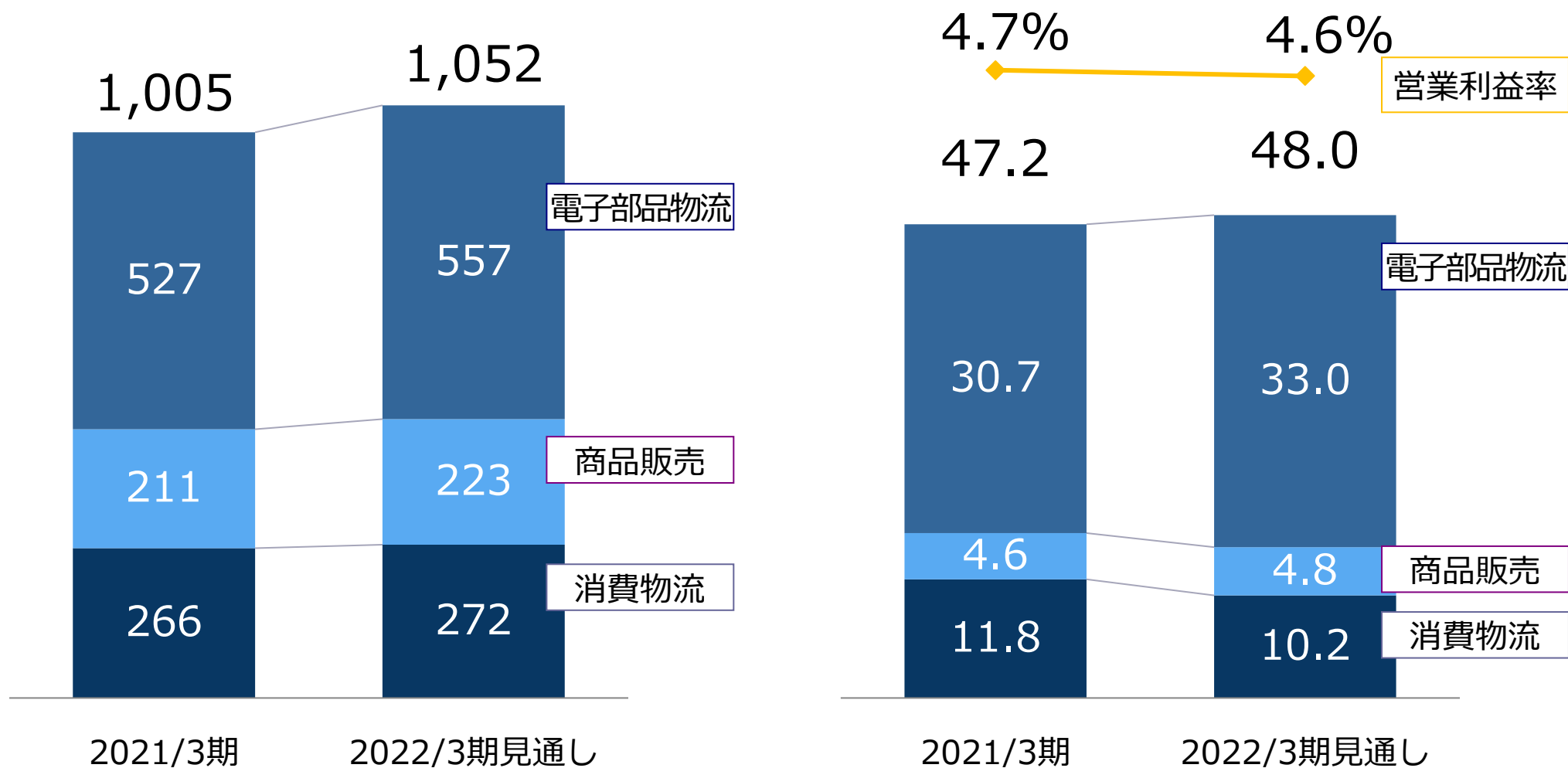
2022/3期セグメント情報 (連結)

■ 売上高

(単位：億円)

■ 営業利益

(単位：億円)

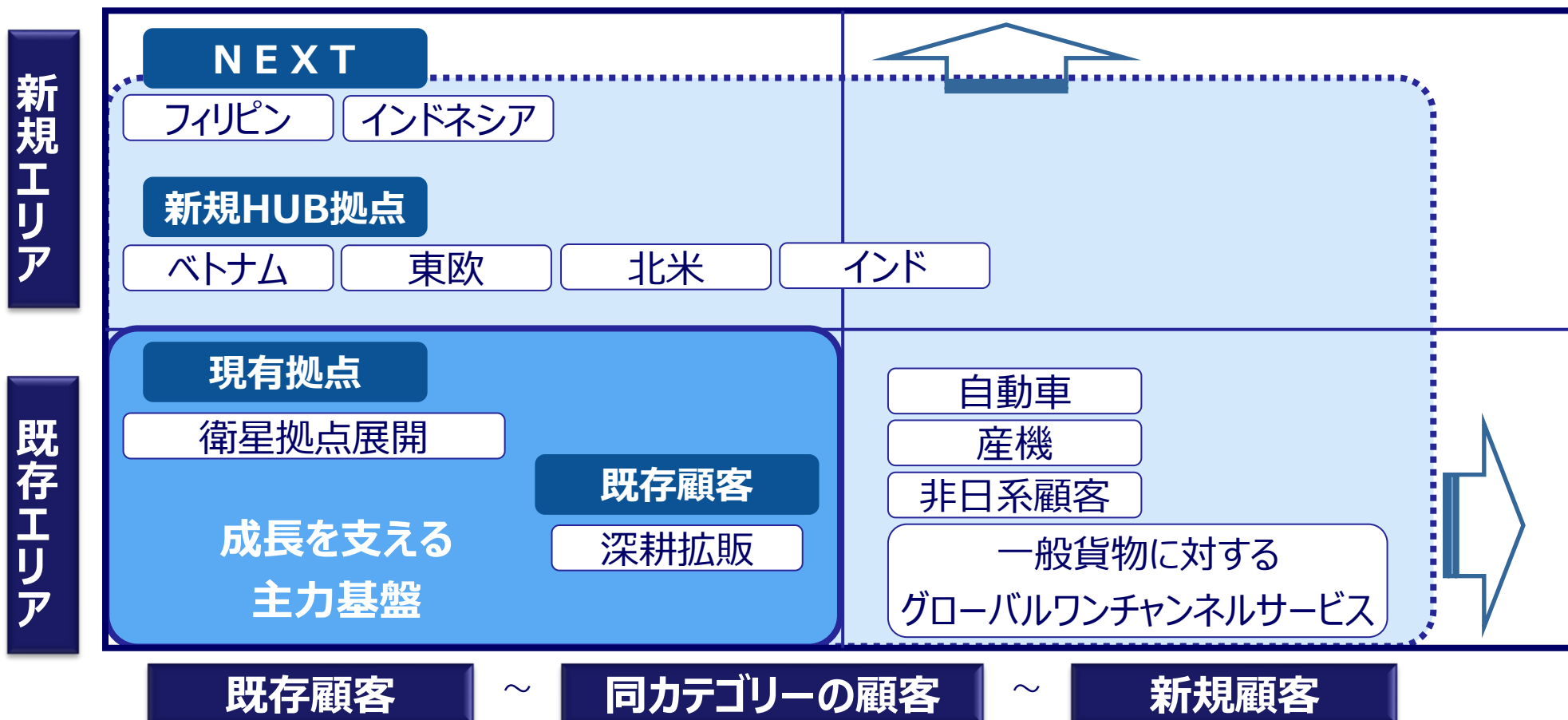


※各セグメントの売上高・営業利益は連結消去後の数値です

2022/3期の主な取り組み【電子部品物流】

地域と市場・顧客の2つの軸でビジネス伸長

- 基本戦略を維持。 車載も電子化含め成長～事業基盤強化継続
- 国内：東名阪のHUB拠点+自動化を含めた省人化推進
- 海外：インド2社の経営安定と北米、東欧等へのネットワーク拡大



2022/3期の主な取り組み【電子部品物流】

横浜・中京地区 主要拠点の増強

- 横浜に新倉庫を建築

2021年11月着工

2022年9月竣工予定

倉庫面積：9,000m²

神奈川県横浜市（横浜営業所敷地内）

- 中京地区に新倉庫を建築

2024年竣工予定

倉庫面積：30,000m²

- 加須2期倉庫の検討



横浜新倉庫 完成予想図

2022/3期の主な取り組み【消費物流】

物流領域の拡大と“キレイをハコブ”を進化

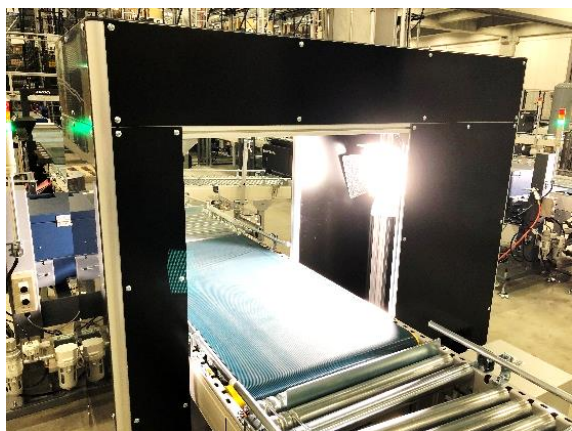


生産性向上の取り組み

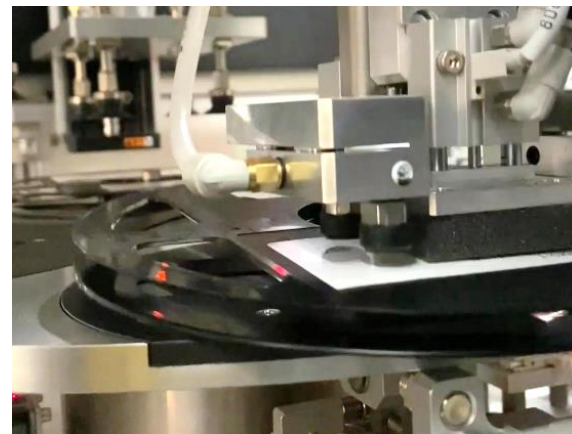
自動化機器の横展開

【電子部品物流】

● 自動倉庫機器の導入

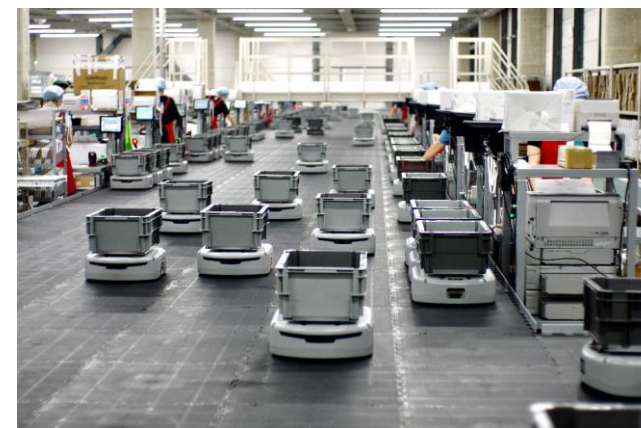


● 自社開発 自働ラベル貼付 2 号機の導入



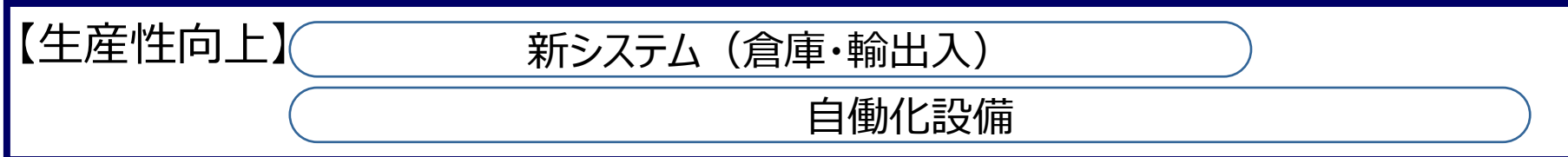
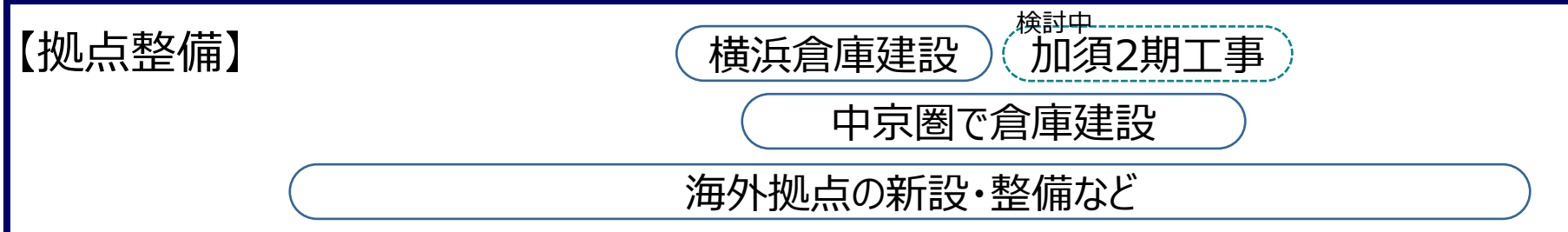
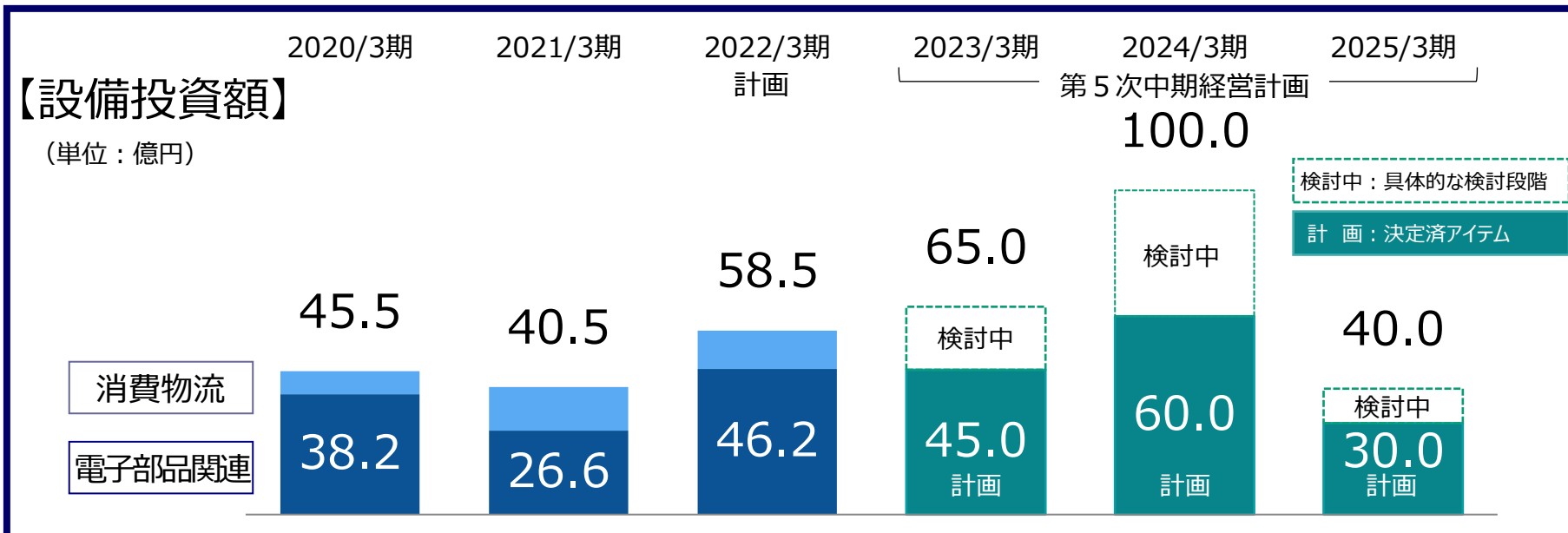
【消費物流】

● 業界最多330台の 小型搬送機AGV導入



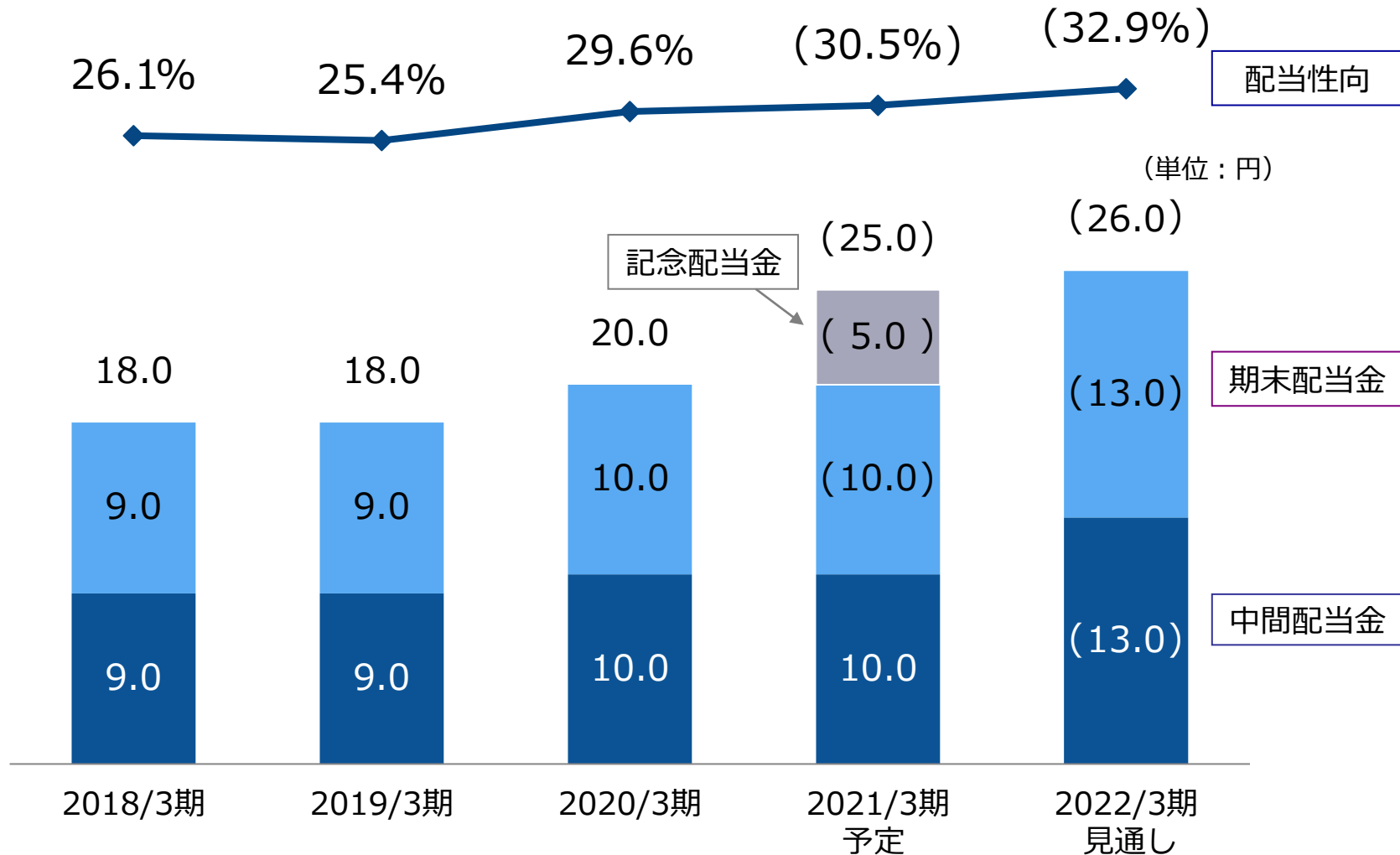
設備投資推移

「戦略投資拡大」＝「拠点整備」＋「生産性向上」



配 当 計 画

- 投資と株主還元のバランスを取り、安定的に増配を目指す
- 配当性向は概ね30%～40%の範囲となるよう充実させる



株主の皆様におかれましては
今後とも一層のご支援
ご鞭撻を賜りますよう
よろしくお願い申し上げます

株式会社 **アールス物流**